



社会福祉法人尚徳福祉会 日野保育園 2021年3月

暖かな日差しを感じられる日が増え、本格的な春の訪れを感じます。散歩に出かけると、桜の木を見上げて『桜の花びら降る頃は ランドセルの一年生〜♪』と嬉しそうに歌う子どもたちです。

保育園での生活もあと1か月となり、卒園を祝う会に向けての活動も始まりました。これまでの保育園生活を振り返って、「懐かしいね」「楽しかったね」と話し合っています。コロナウィルスの影響により行事や活動が縮小になった一年でしたが、悔しさを感じながらも前向きにそして一生懸命に取り組む子どもたちの姿に大きな成長を感じました。至らない点多々あったかと思いますが、ご理解・ご協力をいただきありがとうございました。



☆探検気分楽しいね☆

「いつか、行ってみよう!!」と目標にしていた円海山に散歩に行きました。『節分集会に来た鬼は円海山に住んでいるんだよ』なんて情報もあり…ドキドキしていた子もいましたが、山の入り口の細竹に覆われた小道を入るところから「うわぁ☆探検みたい!!」と気分が盛り上がっていました。港南台や洋光台の街並みが眼下に広がり、海が見える見晴らしのいい場所に着くと、驚きの光景に大喜び☆友達と肩を組んでピースサインやガッツポーズをしていました。そして、尾根伝いのコースを進むこと1時間、丸太の階段やでこぼこ道もぴょんぴょんと跳ぶように歩いていました。整備された公園で遊ぶのとは違い、豊かな自然を十分に感じる事ができたようです。「今度は違うコースに行ってみようね」とさらに期待を膨らませていました。卒園までに、またチャレンジしてみたいと思います。



☆世界に一つの雛飾り☆

今年度は、張り子で雛飾り作りをしました。障子紙をちぎって、ガチャガチャのカプセルに張り付けていくのですが、球体ならではの難しさや扱いづらさがあり、四苦八苦する子もいました。全体が白くなるまで障子紙を貼っていくと、なんだか卵のようになり、愛着がわいたのか頬ずりする姿もありました。形が出来上がった後は、絵の具で色付けしたり、扇などの付属品を作ったりしました。 coron としてだるまさんのような可愛いお雛様に大満足の子もたちでした♪

おまけ これまで、いろいろな紙を使って制作遊びをしてきました。今回は障子紙をちぎる中でこれまでの紙との違いを発見!!「先生!!紙の中に線(繊維)がいっぱいあるよ!!」これをきっかけに、紙粘土作りにも挑戦してみました☆ちぎった障子紙や牛乳パックをふやかし、フードプロセッサー(手動)で細かくして作るのですが、なかなか大変🌀糊を混ぜてたっぷりこねていくと紙粘土の出来上がり☆「本当に紙が粘土になった!!」と驚いていました。雛飾りのぼんぼりは、この手作り紙粘土でできています。



☆お知らせ☆

◎3月22日の週から、少しずつ荷物を持ち帰りますので、袋をご用意ください。

◎22日より、毎日着替え一式をリュックに入れて持ってきてください。

◎卒園を祝う会では、保護者の皆様にも参加していただく部分もあります。詳細については、後日お知らせします。よろしく願いいたします。